

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 22 日

評価対象事業		評価者	福祉総務課長 尾高 淳一郎	
健福-04	福祉センター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	福祉総務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保全を図るため。
効果	利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

福祉センターの効率的な管理運営を行った。
----------------------

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	福祉センター管理運営事業	光熱水費、昇降機保守点検手数料、総合管理業務委託料	保守及び点検業務(法定含む)の契約件数(件)	17 / 17	41,017 / 41,893	17 43,532	100.0%
02	福祉センター維持修繕事業	各所維持修繕料	修繕計画の進捗率(%)	76 / 80	69,254 / 84,614	80 9,051	95.0%
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	63,900 / 76,600			
			その他特定財源	5,191 / 5,903		5,292	
			一般財源	41,180 / 44,004		47,291	
			事業費の合計(千円)		110,271 / 126,507		52,583
		人件費(千円)			7,587	7,686	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.5	1.0	1.0			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	福祉センター管理運営事業	保守及び点検業務に漏れがないように、一覧を作成し適切に管理することで、施設環境の保持に努めている。	福祉活動を行う場を適切かつ効率的に管理運営することにより、多様性のある福祉サービスの充実が図れた。	福祉センターは市役所本庁舎と離れている。適切な管理運営のために、総合管理業務委託事業者との連絡を密にすることが必要である。
02	福祉センター維持修繕事業	新型コロナウイルス対応で、維持修繕費用の執行を抑制した時期があったため、目標未達となった。	大規模外壁修繕を実施するなど、安全に施設が利用できる状況を維持することで、多様性のある福祉サービスの充実につながった。	鎌倉市福祉センターは、建築後30年が経過し維持修繕必要箇所が増えている。計画的な対応が求められる。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
			協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・福祉センターにおける施設の保守管理料等維持管理費について、今後も施設利用事業者から、適切な受益者負担を求めるとともに、パネル広告など収入確保策を継続する。デイケアについては、介護保険事業が開始されて相当年数が経っていることから、家賃徴収など管理の仕方について再検討が必要となる。</p> <p>・コロナ禍ではあるが、引き続き、国や県の方針に基づいた感染防止策を講じた貸館運営に努める。</p>					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	保守及び点検業務(法定含む)の契約件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
保守及び点検業務(法定含む)を適切に実施することで、施設環境が保持できると考えられるため。	目標値	-	17	17				
	実績値	-	17					
	達成率	-	100.0%					

指標(単位)	修繕計画の進捗率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的に修繕を実施することで、利用者の利便性向上につながると考えられるため。	目標値	-	80.0	80.0				
	実績値	-	76.0					
	達成率	-	95.0%					

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項	福祉会館の所有者(上段)及び管理者(下段)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	平塚市			
他市実績	市	市	市	市			
	市	市	指定管理者	指定管理者			

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	福祉会館の運営方法は、直営や指定管理など各市様々である。 本市の福祉センターの運営方法についても、他市の状況を鑑み検討していく必要がある。
--------------------------	--